

入院診療計画書(乳腺T C療法を受ける患者さまへ)

ID番号 @PATIENTID
病名 (他に考える病名)

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM 号室


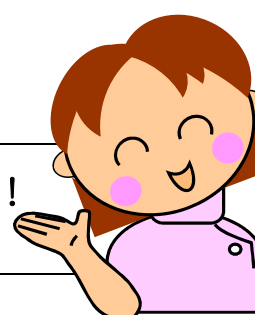
担当医師 @USERNAME 印

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名

@SYSDATE

月日	月 日	月 日
経過	化学療法当日	2日目
目標	■安心して化学療法が受けられる。	■副作用について理解できる。
検査	■検査は特にありません。	■特に予定はありません。
注射		
観察	<ul style="list-style-type: none"> ■体温、脈、血圧測定をします。 ■ドセタキセル投与中は皮膚の発赤・水疱を予防する目的で手足を冷却します。 ■抗癌剤開始後、5～10分程度、発赤や息苦しさなどのアレルギー症状がないかを観察します。 ■アレルギー症状が出た時は、すぐに看護師を呼んで下さい。 ■点滴の針が入っている部分が腫れたり痛い時は、我慢せずにすぐに看護師を呼んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ■検温があります。気分が悪い時は声をかけてください。
内服	■内服薬は特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> ■抗生剤をお渡しします。 ■退院後38℃以上の発熱が続くときは、お渡しした抗生剤を内服してください。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ■特に食事の制限はありません。 ■嘔気予防のため腹8分目に抑えておく和良好的です。 ■病院内の食事内容を変えることもできます。 ■ご希望の方は看護師に相談してください。 	
行動	<ul style="list-style-type: none"> ■点滴をしながらトイレなどに行くことは可能ですが、点滴の管を引っ張ったり、身体の下敷きにならないように注意しましょう。 ■気分が悪いとき、ふらつき等あるときは、看護師を呼んでください。 	<p>お大事に!</p> 
説明	<ul style="list-style-type: none"> ■看護師から入院生活について説明があります。 ■治療中、治療後の注意事項について説明します。 ■医師や薬剤師から化学療法の方法や副作用について説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■看護師から退院後の生活について説明があります。 ■外来化学療法を受ける方は、外来化学療法センターについて説明します。 ■退院時には、①退院証明書 ②次回予約票 ③抗生剤 ④退院処方(必要時)を受け取ったことを確認してください。

<退院後の生活について>

・抗がん剤の影響で食欲がないときは、好き なときに、食べられるものを少しずつ摂りましょう。

・人ごみを避け、外出時はマスク着用しましょう。また、手洗いうがいをし感染予防を心がけましょう。

・抗がん剤治療の影響で免疫力が下がると口内炎ができたり、お口の中が荒れる場合があります。食事のあとは歯磨きをし、お口の中の清潔を保ちましょう。

以下のことがあれば、我慢せずにお電話ください。

- ・抗生剤を飲み終わっても、38度以上の熱が続く。
- ・嘔吐や吐き気が続き、食事・水分を摂るのが困難。
- ・便秘や下痢が何日も続く。
- ・痛みが強くなってきた。

……など

乳腺外科外来 024-547-1221
みらい棟4階東病棟024-547-1629

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

注3) 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 承認パス (No. 271) 承認年月日 (2017年11月1日)

署名:

続柄: